

一般質問

山本 やすゆき 議員
(未来)

誇れるまちNo.1となる行財政改革、実現へ。しながわペイ導入などによる縦割り行政の解消、施策効果の最大化、及び予算の効率化、行政の見える化、区民参加型行政の推進について

問

デジタル地域通貨が世田谷区や渋谷区等へ続き、港区と中野区でも進んだ。私が2年前から訴えてきたことが、今まさに23区で進み、効果が確認されつつある。経済対策に留めず区政課題の解決と政策推進の動機づけツールとして設計でき、商店街や地域の連携、シビックプライド醸成でも効果がある。他区を参照、統合候補を棚卸しし、費用労力の比較検討を進めるべき。しながわペイ導入の検討は如何か。現時点ではデジタル地域通貨ではなくデジタル商品券導入に至った。

答

問

幅広い声を集める為、選択式の簡単なアンケートとリアルタイムで結果確認ができる仕組みのデジタルプラットフォーム導入は如何か。

答

当面はしなトークの周知啓発に努め、現行システムの運用に注力。

問

教育の質No.1のまち、しながわを保護者とともに創る。教育の質を高めるための取り組みについて

答

PTA活動を取り巻く環境変化を考慮し、運営費助成を含めた今後の支援のあり方を検討していく。

問

子ども達の健やかな成長と未来を担う人材の育成をサポートする、学校のPTAや保護者活動の財政的支援の拡充をしてはどうか。

答

地域と学校の繋がりを強化する取組を行い、子ども達の貴重な学びとなる地域交流を充実させていく。

問

今年度の予算特別委員会において効率的な方法として提案した標準服無償化に伴う全国初の電子クーポンの活用についての検討状況は。

答

電子クーポンの発行を決定した。現在、事業者を選定中。

一般質問

令和7年第3回定例会では、区政全般について
8名の議員が一般質問を行いました。
以下、概要をお知らせします。

9月18日(木)		9月19日(金)	
山本 やすゆき	議員(未来)	この 孝子	議員(公明)
つる 伸一郎	議員(公明)	田中 たけし	議員(未来)
こしば 新	議員(自民)	西村 直子	議員(自民)
石田 ちひろ	議員(共産)		
せらく 真央	議員(維新)		

会派名は次の略語で記載しています。

自 民……品川区議会自民党・無所属の会	未 来……しながわ未来
公 明……品川区議会公明党	共 産……日本共産党品川区議団
維 新……品川区議会日本維新の会	

一般質問とは

議員が区の行政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問です。各定例会で行われます。

一般質問

つる 伸一郎 議員
(公明)

平和施策について

区長の広島・長崎両都市訪問を、平和施策にどのように生かすのか。

答

原爆による今なお続く苦しみや残酷さ悲惨さを痛感。武力ではなく対話により世界の平和の実現を図るべき。不戦および平和の誓いの象徴としてアオギリやクスノキなどの被爆樹木二世の植樹を進める。平和は隣人同士の理解から始まり、地域コミュニティで育まれる。当たり前の日常の中にある平和を守り育てる区政を推進する。

問

品川区平和使節の派遣先として沖縄県を追加しては。

答

沖縄へ平和使節を派遣することは意義あることであり、検討する。

ベシックサービスの展開について

問

ベシックサービスの予防医療の

答

拡充として、人間ドック、各種がん検診等で一部有料となっている部分の無償化を求める。

問

各種がん検診について、受診率向上の取り組みは重要課題であり、無償化も含め有効な手段について検討する。

問

ベシックサービスとして、インフルエンザ予防接種の対象・助成拡大や無償化についてご所見を。

答

助成額の拡充や無償化については、他の任意予防接種との兼ね合い等も見ながら検討する。

問

子ども・若者施策について
昨年の第四回定例会でも言及した(仮称)品川区こどもの権利条例を制定すべき。

答

令和10年の条例制定を目指し、(仮称)品川区こどもの権利条例の策定に着手する。

問

こども会議や中高生リバースメンター事業に中学校の生徒会の代表の参加などメンバー選定の拡大を。生徒会の代表をはじめ参画を積極的に促進する。

問

こどもの不慮の事故対策として、子どもセーフティハウスを参考に、巡回展示を検討しては。

答

親子で参加できる安全教育プログラムの実施などを検討する。